

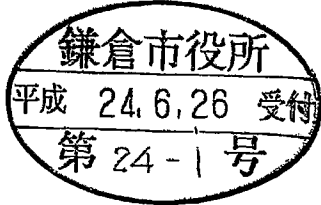
大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号

24-1-1

平成 24 年 6 月 26 日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所

氏名 打越町内会長

電話

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市笛田五丁目 1988 番 1 の一部ほか 13 筆
事業者氏名	株式会社カサハラ企画 代表取締役 笠原 秀正
<p>○意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の計画や作業の進行状況に合わせながら、必要に応じた説明会を開催されることを要望します。また、町内会等から声が上がった場合には説明会を開催することを要望します。 ・ 予定されている公園の位置が住民の死角になります。利用者の保安の観点、子どもの健全育成の観点、また、災害時の活用の観点から、開発区域の入り口近くに配置することを要望します。 ・ 公園の遊具の選定およびその配置については、町内会・子ども会の意見を取り入れることで、市担当課と調整されることを要望します。 ・ 町内会自主防災備蓄倉庫用地の提供を切望します。 ・ 町内会用広報板の設置を要望します。 ・ 安全対策および防犯対策のための街灯の設置を要望します。 ・ 安全確保のため、出入り口等にカーブミラーを設置することを要望します。 ・ ごみ置場 (クリーンステーション) の設置数を 3 か所ほどに増やすことを要望します。 ・ テレビ放送の電波障害が発生した場合には、トラブル防止に向けて適切な対応を図ることを要望します。 ・ 生活道路・電線の確保等については、関係住民と十分な協議・調整を図られ、関係住民の日常生活に支障をきたさないようにされたい。 ・ 祭礼等行事の遂行に支障をきたさないよう、工事のスケジュールを組まれたい。 ・ 開発にあたっては、周辺環境との調和した景観に配慮されることを要望します。 ・ 工事車両の通行に当たっては、安全確保のために万全の対応を図ること。特に児童生徒らの通学時間帯における安全対策に万全の対応を図ること。 ・ 周辺住民および通行車両の通行に支障をきたさないこと。 	

- ・安全確保、また、交通渋滞を起こさないために、周辺道路などで工事車両の駐車や待機はしないこと。
- ・ガードマンの配置や工事車両の通行経路などの安全対策については住民へ計画を出すなど情報提供を行うとともに住民の声を取り入れること。
- ・静穏な生活環境の確保のため、十分に配慮すること。日祭日の作業は行わないことを要望します。土曜日については基本的に静穏を害する作業は行わないことを要望します。
- ・騒音、振動、土ぼこりの発生等周辺環境に影響を与える機械の使用に当たっての作業時間は準備から掃除・後片付けを含め、9時～17時とすることを要望します。
- ・騒音、振動、土ぼこり等の発生により、周辺住民等からの苦情を発生させないように十分な配慮をされること。また、苦情が発生した場合には、誠意をもって対応すること。
- ・工事または工事車両等の振動により、家屋、構造物等に被害が出る可能性がある区域については希望者に対し、事前の現況調査を実施することを要望します。また、被害があった場合は誠実に補償すること。
- ・工事中の散水や雨水等から生じた排水については、下流の住宅等に迷惑にならないようにすること。
- ・本工事に起因する河川等への増水によって、周辺住宅へ浸水等の被害を発生させないようにすること。
- ・雨水の排水対策については、大雨や突風も考慮に含め、洪水や土砂崩れ等の災害を発生させないように万全の対応を図ること。

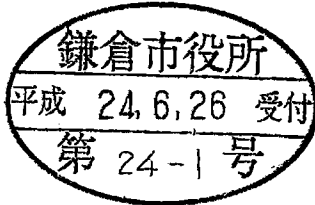
大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号

24-1-2

24年6月26日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所 [Redacted]

氏名 [Redacted]

電話 [Redacted]

(法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。)

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市 笛田五丁目 1988 番 1 の一部ほか 13 筆
事業者氏名	株式会社カサハラ企画代表取締役 笠原 秀 正

○意見の内容(※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

1. 元三貴園登り口私道について

立石橋から元三貴園へ至る道路は入り口側より一部が私道([Redacted] 所有)、公道(一部)、私道(カサハラ企画)という形態であり、住宅地脇の公道を利用する通行人が私道([Redacted])を使用し通行しているのが現状です。この問題を解決するため、市側へ対応を求めたところ、「今後、開発等がある場合において開発計画に合わせ協議したい」との回答があった。このことから、市道路整備を含めた対応方を要請します。

- * (都市整備部道水路管理課 平成16年3月4日土地境界査定結果通知、道路整備課改良維持担当係長以下2名 平成16年7月8日現地9時立会い)
- * (道路使用承諾書、平成21年9月30日 [Redacted])

2. 元三貴園私道の排水路(側溝)の整備について

現在、排水路が破損し、また、全般的に土砂で埋まっている現況です。このため、樹木の枯れ葉、塵あい等が降雨時に坂道の道路上を流れおち、立石橋交差点から水道路下方へ流れ雨上がりには門前にゴミがたまり、降雨後は道路の清掃を行っているのが状況です。水道路下方の排水口は枯れ葉等のゴミでふさがり雨水が溜り強雨時には道路冠水となり、歩行者(学童含む)の妨げとなっていますので排水路の改修整備を切望します。

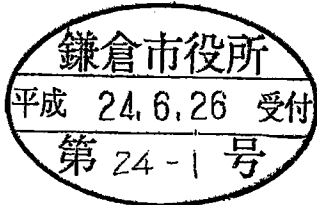
3. 立石橋交差点の交通安全対策について

開発にあたり立石橋交差点の水道路(一部)が拡幅(6m)されますが、交差点から下方向への道路は従来の狭隘道路幅員となり交通事故(車両、工作物等)

の発生が危惧されます。現況の通行状況においても、県道から流れる車両の通行量も多くトラブルが発生しています。このため、幅員変更「路上障害物に接近」を車両の運転者に知らせるための標識（反射鏡）並びにガードレールを設置し安全に通行（特に夜間）できる道路形態にさせていただくよう切望します。

平成24年6月26日

(あて先) 鎌倉市長



住所 [Redacted]

提出者 氏名 [Redacted]

電話 [Redacted]

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市笛田五丁目 1988 番 1 の一部ほか 13 筆
事業者氏名	株式会社カサハラ企画 代表取締役 笠原 秀正

意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

1 宅地 No5、6、7 及び 8 の石積擁壁に沿った水路が計画されており、その流末として市の水路への繋ぎが予定されていますが、現状ではその繋ぎ部分と思われる約 20m の間は水路がなく、崖下の岩の上あるいは路面を水が流れている状況です。宅地開発により従前以上に水量が増えることと考え併せ、この間の水路の設置を要望します。

さらに、大雨の際、開発地域内の谷間を盛土する計画地域と周辺から流れ出る水量はかなりの量であるため、極力、幅のある水路の設置を要望します。

2 今年 7 月に三貴園家屋の解体が予定されていると聞いています。当家屋から直線距離で約 70m ほど離れた自宅では庭を利用して僅かながらトマト、イチゴ、ブドウを栽培しておりますが、毎年、アライグマ、ハクビシンの被害に遭い、市役所から借りた捕獲檻でのこれらの捕獲数は、過去 6 年間で 10 匹程となっています。これらが辿ってくる道は、足跡から推測し永年空家であった当家屋からと考えています。あいにく付近にはこの他に空家があり、三貴園家屋の解体でこれらが移り住むことも十分見込まれますので、事前にこれらの徹底した捕獲を要望します。

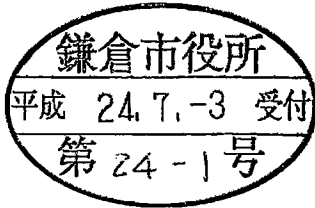
大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号

24-1-4

24 年 7 月 1 日

(宛先) 鎌倉市長



提出者 住所.....
 氏名.....
 電話.....)

(法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。)

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市笛田 5 丁目 1988-1 他
事業者氏名	株式会社カサハラ企画

○意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

事業者が市に提出した大規模開発事業基本事項届出書の中の「環境及び景観に関する調査報告書」には、

動物について、「貴重種の生息及び重要種の生息の可能性は低いと考えられる。以上から特段の措置は講じる予定はありません」と記載され、

植物について、「調査段階では、貴重な植物は確認できていません」と記載されています。

貴重種、重要種でなくても、小鳥等の普通の動物が生息できる環境は大切であり、できるだけ樹木は残していただきたいと思います。

植物は、貴重な植物でない普通の樹木も大切です。これだけ大きい森は貴重なので、できるだけ残していただきたいと考えます。

生態系について、「宅地内緑化、既存緑地付近への公園設置を行い、生態系維持の計画を講じます」と記載されています。

現存する樹木をすべて伐採して、宅地内緑化 25%以上にしても、生態系は維持できないと思います。どのようにして生態系維持するのか、具体的な計画を示してください。

24年7月2日

(あて先) 鎌倉市長



住所 [Redacted]

提出者 氏名 [Redacted]

電話 [Redacted]

[法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。]

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市 篠田5丁目1988番1の一部(約1/3)筆
事業者氏名	(株)カサハラ企画

意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

① 三農園跡地開発に伴い、約50年以上生活道として使用していた道が宅地計画図の5番宅地になる計画です。元地主と売り先の [Redacted] との間に取り交わした、道路掘削承諾書をいただいております。生活道として使用する承諾を仰いでいます。路上で足跡難通路は何通りかあると安全です。6/23(エ)に(株)カサハラ企画さんと協議し宅地番号5と6番の間に掘削した通路を使用する事になりましたがやはり道路掘削承諾書通り生活道の現状維持が車の入る接道を希望します。

② 宅地計画図 8番宅地左側に設けられた階段ですが、護柵でも通行出来れば、防火上非常に不安です。

鍵のかかっている肉柱の施行と車止めの設置をお願いします。

又、8.22.23番宅地に隣接する宅地側の道路には

ガードレールの設置をお願いします。

宅地計画図 8.23番の隣接する宅地の擁壁は6.3(E)

(株)カサハラ企画さんに確認したところ 3m位の計画と伺いました。

隣接する宅地に近く、又高すぎます。

擁壁は崩壊しないとは思いますが、防火上 2m位の高さなら

安心出来ますので、擁壁は2m位でお願いします。

3/4

大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号 24-1-5

24年7月2日

(あて先) 鎌倉市長

住所 [Redacted]

提出者 氏名 [Redacted]

電話 [Redacted]

[法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。]

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番 鎌倉市 筈田5丁目1988番1の一部ほか13筆

事業者氏名 (株)カサハラ企画

意見の内容(※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

- ③ 宅地計画図の8番宅地には現在消火栓がありましたが消火栓に行く途中にバリケードが設けられ使用不能になっています。使用出来る様、早期の改善をお願いします。又、隣接する住居にそごうに備え現在ある位置に消火栓をお願いします。
- ④ 計画地内の公園について奥まぎで住民の目が届かず不良の溜り場になる可能性があります。公園の擁壁上部は急斜面地で何年か前に台風でガタくずれが発生しています。法面施行を行なう様ですが子供達が遊ばない。とて不審です。もっと通り面した場所に公園を作して下さい。

4/4

24年7月2日

(あて先) 鎌倉市長

住所

提出者 氏名

電話

(法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。)

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番

鎌倉市 筈田5丁目1988番1の一部ほか13筆

事業者氏名

(株) カサハラ企画

意見の内容(※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

- ⑤ 調整池について毎時何mmの雨量があつたら調整池が満杯になるのでしょうか? この数年の傾向としてかなりゲリラ豪雨が降つていま、もと余存のある調整池を設置して下さい。
- ⑥ 作業日程に関して、月曜日～金曜日の作業を希望します。休みは土、日、祝祭日、正月、お盆の作業はしないで下さい。作業時間は9:00～17:30頃でお願いします。
- ⑦ 開発区域内の22、23番に隣接する宅地は大雨が降つた場合かなりの地下水(湧き水)が出ます、隣接する宅地は開発区域より下側になるので十分な地下水(湧き水)、雨水の処理をお願いします。

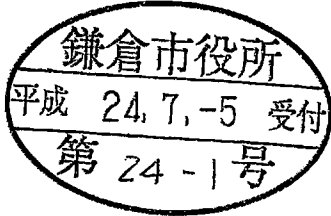
大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号

24-1-6

24年7月4日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所 [Redacted]

氏名 [Redacted]

電話 [Redacted]

(法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。)

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市笛田5丁目1988-1他
事業者氏名	株式会社カサハラ企画

○意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

[Redacted]

開発による地形変更と樹木伐採により、今まで樹木で保水されていた雨水が、保水されなくなった場合、雨水の流れがどのように変わるか、十分事前検討してください。

擁壁上に降った雨と擁壁水抜き穴からの絞り水は、当方の土地の擁壁下の側溝を通して排水されています。この排水量が現状より増えて、現状の側溝による排水では十分でなくなるような場合は、対策処置をとってください。

大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号

24-1-7

24年7月6日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所

氏名

電話

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市 苗田五丁目1988番1の一部ほか13筆
事業者氏名	株式会社 カサハラ企画 代表取締役 笠原秀正

○意見の内容(※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

別紙のとおり

事業区域の雨水を排水する計画ポイントの水路(以下「A」という)の
およびの2項道路(以下「B」という)ならびにBの南側に隣接する
水路(以下「C」という)を

意見内容

- 1.Aは、俗称「水道みち」から4メートル以上の落差があるため、事業区域からの排水の音が騒がしくならない措置を施して欲しい。
- 2.①Aの上流部のほうが川幅・水深があります。Aが狭隘であるため、現在でも冠水一歩手前まで増水しております。事業計画の雨水または土管などにより、雨水の流れが悪くなったり、水量そのものが増えることで、冠水することがないように措置を施して欲しい。
②Cについても、大雨の場合は冠水一歩手前となっております。
Aの水嵩が増すことで、Cの流れが悪くなると推量します。
BおよびBに隣接する住宅敷地が冠水することのないように措置を施して欲しい
- 3.①事業区域のメイン道路がAに向って傾斜していることから、雨水が俗称「水道みち」を超えて流れ込まないかを心配しております。側溝や雨水拵の設置を検討されていることと存じますが、枯葉等により機能しなくなることも想定されるため、水道みちの水路側に衝立状のものを設置するなどの措置を施して欲しい。衝立状のものは現在もありますが現状より高くなればなお良いと存じます。
②俗称「水道みち」に水溜りができないようにして欲しい。
との高低差から、水溜りの水が車両の通過により跳ねてくると困ります。
事業区域の問題ではないと存じますが、工事期間中の配慮をお願いしたい。
また、俗称「水道みち」に何らかの工事を行なう場合は、この対応措置を願いたい。

以上

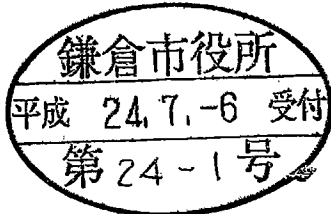
大規模・中規模開発事業意見書

意見書番号

24-1-8

平成 24 年 7 月 日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所 [Redacted]

氏名 [Redacted]

電話 [Redacted]

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市 笛田五丁目 1988 番 1 の一部ほか 13 筆
事業者氏名	株式会社カサハラ企画 代表取締役笠原秀正

○意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

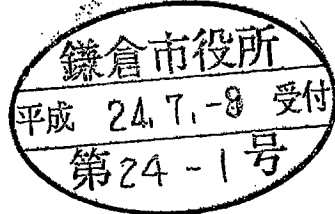
本件開発行為による、自然災害へのリスク対策に関する市民への説明について、次の通り配慮を求めます。

1. リスク対策の有効範囲 (および限界) の評価可能な指標による提示
 リスク対策の有効性について、「法の要求を満足する対策をとる」との説明では、対策が安心できるものか判断ができない。
 例えば、調整池の容積であれば、『地下への浸透率を XX%、開発地の保水容量を YYm³とし、河川への放流を毎分 YYm³おこなう場合では、時間当たり 45mm の降雨が 12 時間継続した場合、または、時間当たり 78mm の降雨が 6 時間継続した場合まで対応するよう設計されている。』
 傾斜面または擁壁の強度であれば、『計測震度 7.2 の地震に耐える、または、600gal の振動の 20 秒継続、1000gal の振動の 3 秒継続のいずれにも耐える強度を保持している。』
 といった、説明であれば判断の資料となる。
2. 開発の各段階におけるリスクの変化と対策
 本件開発行為は、樹木の伐採・根起し、大量の切土を伴う。
 従って、開発の各段階で、地震や豪雨によるリスクは変化すると予想される。
 開発完成後のリスク対策と効果だけでなく、開発の各段階におけるリスク想定と対策および効果を示していただきたい。

以上

平成 24 年 7 月 5 日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所

氏名

電話

法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市 苗田五丁目 1988 番 1 の一部ほか 13 筆
事業者氏名	代表取締役 笠原 秀正

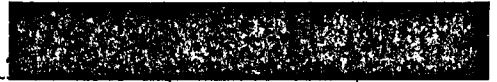
○意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

近隣住民として この開発事業に反対です
 開発事業は、住宅の需要がある限り 止めをえないものでしょう。しかしこの自然にめぐられたこの地域に、山を削って
 ほどの大規模開発は 本当に必要でしょうか。
 私たち住民には、良好な環境で 静かに生活する権利があります。騒音、工事車両の通行など 開発による弊害が
 もたらされることにより、この私たち住民の 有る権利が
 大きく侵害されます。
 住民感情としては 中止あるいは大幅な規模縮小を
 希望しています
 御社側にも所有した土地を自由に する権利が
 あることは当然 理解はしています。
 ただ それ以前に 地域に根ざした 住民の
 心情というものを 念頭に おいて頂きたい と思ひます。

平成24年7月7日

(あて先) 鎌倉市長

住所



提出者 氏名

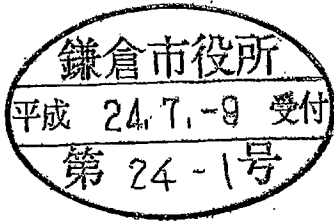
氏名



電話



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕



次のとおり提出します。

事業区域の地名地番	鎌倉市 笛田五丁目1988番1の一部ほか13番
事業者氏名	(株)カカウ企画 笠原 秀正

意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。)

- 図面西側、公園及び4棟分の盛土には反対です。地質調査を行い、少なくとも10ヶ所以上を硬り地盤まで、どの位の深さで達するのか、結果と工法を公表して下さい。
- 宅地No.22,29の北側斜面に接する部分とNo.23,24等擁壁面の水はどこへ流されるのか知りたいです。工事に関係ない部分かもしれながら北側斜面(鎌倉市管理)は申出てはいるが保全の為の伐採はされず下に完全な側溝もなく、生活に必要な通路は少い雨で水路が変わる現状で、震度6.7の地震の事や温暖化で著しく変化している風や雨の量を考えると盛土で囲まれる事は昭和30年代の崩れがあった場所として心して欲しい。この6月22日にも倒木があったと云うです。
- 壁面排水穴から受けるだけのU字溝であれば17cm幅で良いだろうが水は低地に浸透され、流れるのです。盛土壁面、斜面からの全部の水は谷戸に流れ出てくるのです。谷戸に住む者にとつての負担なのです。
- 大きな容量のU字溝の設置を望みます。その管理等はどうするか教えて下さい。

2012年7月9日

(宛先) 鎌倉市長



提出者

住所

氏名

電話

(法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。)

次のとおり提出します。

事業区域の地名地番

鎌倉市 笹田五丁目1988番1の-一部ほか13等

事業者氏名

株式会社カキウ企画 代表取締役 笠原孝正

○意見の内容 (※事業者に対して述べる意見の内容を記入してください。) No1

- ・ 景観上、エリアオーバー時(調整地)の被害リスクの軽減のため予定地のNo1, No2付近に調整地を設けることを強く要望します。
(既存の家の上位置に新設の調整地を伴い、景観の悪化、臭い発生が予想され、調整地をオーバーフェイスに設けると水かさのリスクを軽減する為) (論議の際含む)
- ・ 降水管と調整地の容量との関係の数値をわかりやすく説明してほしい
- ・ 過去に、水害・土砂災害を受けた地域であるため、調整地を2ヶ所分散する等の被害のリスクを最小限におさえる工夫を要望します。
- ・ 調整地自体の安全性(対策も含め)を提示してほしい
- ・ 大雨の道路が川に流出する場合は、排水設備の対策をほしい
- ・ 道路(特に東道)・水路の一体化集約型の構想の是非を要望します。
(既存の玉環園への東道の利用の是非も含めて検討を)
- ・ 解体工事の件、自程、車両の出入等の詳細を周辺住民へ提示する説明会の開催を要望します。
- ・ 工事の詳細については、事前説明会を開催し、工事の施工にあたっては、周辺住民の意見反映を行うよう要望します。

笠原

